

北陸新幹線の早期整備について

北信越部会提出
説明担当 あわら市

北陸新幹線は、わが国の高速交通体系の柱として、日本海国土軸の形成や国土の均衡ある発展に寄与し、さらに東海道新幹線の代替補完機能を担う国家的プロジェクトです。

また、温室効果ガスの排出量削減など地球環境時代に大きく貢献するとともに、地域間交流の拡大や地域経済の活性化に大きな効果をもたらすものでもあります。

現在、北陸新幹線については、長野から白山総合車両基地間が平成26年度末の完成を目指して整備が進められており、福井県内においても、21年2月に福井駅部が完成したことにより、市民・県民が一日も早い福井延伸を期待し切望しているところです。

北陸新幹線の早期整備は、投資効果に優れ、地方への経済波及効果が大きく、沿線地域の飛躍的な発展を図る上で必要不可欠な事業ではありますが、依然として全線の整備方針は不明確であり、未着工区間の取扱いや建設財源の安定的確保など、多くの課題が残されています。

つきましては、沿線住民の長年の悲願である北陸新幹線の全線開通が一日も早く実現するよう、下記の事項について強く要望いたします。

記

1 北陸新幹線の早期整備

(1) 長野 — 白山総合車両基地の早期完成

(2) 白山総合車両基地—敦賀間の整備について、早急に認可決定し、早期着工、早期整備を図ること。

(3) 大阪までの整備方針を明確にし、早期に全線整備を図ること。

2 沿線自治体のまちづくりに係る都市計画事業等との整合性を図るため、各事業の進捗に支障がでないよう、着実に新幹線の整備を進めること。

3 公共事業費の重点配分や貸付料の活用などにより、積極的な事業推進が可能となるよう建設財源の確保を図るとともに、地域負担については適切な財源支援策を講ずること。

4 今後発注予定の建設工事について、地元建設企業の受注機会の確保・増大、地場製品の活用について配慮すること。

5 並行在来線について、地方負担の軽減、運行の在り方（維持経費の助成措置、線路使用実態に見合った貨物線路使用料の見直しなど）も含め、新たな方策を早急に講ずること。